

## 「議論の勝敗」

JJ1SXA 池

インターネットの何処かで、下記のような文章を読み、無線の世界にも相通ずるところがあるような気がしました。

何処のバンドにもあることですが、我が240においても例に漏れず、意見の相違があつて、場合によっては喧嘩にもなりかねない事があるようです。

意見交換は、原則的にはアイボールでやるべきと思いますが、時には無線で始まる事もあるようです、その時こそ、紳士的でなければいけない訳ですが、喧嘩になってしまえば、双方が冷静で居られないのが原則でしょう。

無線は当事者だけでは無く、他に多くの聴衆がいる場合があります、この事を忘れてはいけないと思います。

双方が、いかに自分の正当性を主張しているようでも、冷静さを忘れてしまえば、必ずしも正しい意見ばかりでは無くなってしまいます。

勿論、冷静に聴いている人もいるのは当たり前ですが、当然、冷静さを失っている聴衆もいれば、意地悪く解釈しながら聴いている人もいます。

「相手にとどめを刺しちゃいけません。」

—以下引用—

「なんで？なんでとどめを刺しちゃいけないんですか？」

「その世界であなたは嫌われ者になる。それは得策じゃない。

あなたは、とどめを刺すやり方を覚えるのでは無く、相手をもてあそぶやり方を覚えて帰りなさい。」

「議論の勝敗は本人が決めるのではない。聴衆が決めます。相手をもてあそんでおけば、勝ちはおのずと決まるもの。それ以上する必要も、必然もない。」

と上野千鶴子さんは、遥洋子に言った。

—（「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」遥洋子）より—

「議論の勝敗は本人が決めるのではない。聴衆が決めます。・・・」の部分は特にその通りと同感です、と同時に「その世界であなたは嫌われ者になる・・・」

も大いに気になるところです。

やはり、喧嘩をしても「相手にとどめを刺しちゃいけません。」ですね、・・・もつと言うならば、喧嘩はしない方が良いという事に尽きると思います。

趣味は楽しむものです、趣味の世界で喧嘩などもつての他と思います、前にもどこかで発言しましたが、思いやりの心と、謙虚な気持ち、それに反省する心を忘れなければ、喧嘩になどなろう筈が無く、誰でも皆、アマチュア無線ライフを充分に楽しみながら過ごせるものと思いますが、如何？

第 51 号(平成 13 年 12 月発行)掲載